

第169回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和4年11月25日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第169回船員部会

日 時 令和4年11月25日(金) 13:30~

場 所 WEB開催

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理

豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 甲斐委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 増富委員、平岡委員(欠席)、村上委員

運輸局 : 佐藤海事振興部長、今泉海事振興部次長

菊地船員労働環境・海技資格課長

上村船員労政課長、鈴木専門官、鈴木労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(9月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 令和4年度最低賃金専門部会委員及び開催日

◎開 会

〔第169回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

【高橋（真） 部会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。

お手元の議事次第の「議題（１）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔上村船員労政課長から資料１～７に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

今の報告内容について、何かご意見、ご質問はありませんか。

ないようですので、了承いただいたものといたします。

続きまして、議題（２）の情報提供に入ります。

委員の皆さんから情報提供をお願いします。

初めに、労働者委員から情報提供をお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

先月にお話していた海員組合の定期全国大会ですが、11月１日から２日の間に開催されました。全国から関係者を含めて300人ほど集まって大会が開かれております。その中で、活動方針の修正案が２件と、そのほかに決議案が４件提案されましたが、活動方針の修正案の２件について採択され、決議案については３件採択されております。

それからもう１点、各地区の最低賃金の改定の金額が合意しておりますので報告します。

沖縄の内航鋼船、木船が11月16日に開催され、職員ＡＢ、部員ＡＢとも1,000円

の改定額で、職員Aで改定後25万1,750円、職員Bで23万5,300円、部員Aで19万3,150円、部員Bで18万3,850円。

そのほかに、沖縄の海上旅客ですが、こちらも11月16日に開催されて、職員、部員とも1,000円の改定額です。職員が24万8,350円、部員が18万6,900円という金額になっています。

また、11月16日に関東の海上旅客ですが、職員、部員とも1,000円ずつの改定額で、職員で24万8,400円、部員で18万7,000円です。

そのほかに、関東の内航鋼船ですが、11月17日に開催されて、職員A、職員B、部員A、部員Bとも1,350円の改定で、職員Aで25万2,900円、職員Bで23万6,150円、部員Aで19万4,300円、部員Bで18万4,700円という金額です。

最後に中部の海上旅客で11月21日に開催されて、職員で1,100円、部員で1,250円の改定額で、職員で24万8,200円、部員で18万5,800円という金額です。

以上です。

【高橋（真）部会長】

ありがとうございます。

それでは、奈良委員からお願いします。

【奈良労働者委員】

さんま漁船の状況について報告します。

8月から操業しているさんま棒受網漁船ですが、10月末までの全国の水揚げ量は約1万1,000トンということで、対前年比2割増しの状況です。ただし、10年前と比較すると1割ということで、非常に厳しい状況であることには変わりありません。

また、小名浜港の状況ですが、昨日、さんま棒受網漁船2隻が今年3回目の水揚げを行いました、地元小名浜港に2隻、3回目でしたけれども合計で約100トン位の水揚げがありました。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

それでは、甲斐委員お願いします。

【甲斐労働者委員】

10月の八戸港の水揚げ状況ですが、前月同月比で79%減という結果になっております。主な要因としては、大中型まき網漁船、中型イカ釣り漁船の水揚げが大幅に減ったことが考えられます。その一方で、水揚げ金額の平均単価については3.6倍に上昇しましたが、数量の減少を補うことはできなかった影響で、金額についても26%減という結果となっております。

漁業種別で申し上げますと、大中型のまき網漁船、中型イカ釣り漁船ともに大幅に減少したのですが、沖合底びき網漁船については、昨年対比で約40%増と、唯一前年を上回った漁業種となっております。

それから、八戸船舶乗組員養成協会の講習ですが、今年度も開催されることが決定しております。4級・5級海技士の航海、機関、これについては令和5年1月11日から3月6日まで、第一級海上特殊無線技士については令和5年3月11日から3月17日まで、四級海上無線通信士については令和5年3月4日から3月21日までとなっております。

以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

続きまして、使用者委員からお願いします。村上委員、お願いします。

【村上使用者委員】

気仙沼からは、昨日、気仙沼漁協の会議がありましたけれども、先ほど小名浜の奈良委員からもありましたが、さんま船が稼働中で水揚げはしておりますが、かつお船は今年の漁期をほとんど終えて、気仙沼に入港する船は終わりました。昨日の会議では、今年は大不漁で、水揚げトン数的には去年の3割、水揚げ金額的には去年の5割5分というような報告がありました。さんま船については、大

分漁獲は減ってきましたが、この後も12月の初めぐらいまでは水揚げが続くようです。

そのほかに、気仙沼の港には、遠洋まぐろ船ですが、現在、2社入港しているところです。通常では1年のうち1か月半ぐらい気仙沼に戻ってきて休むところですが、乗組員不足によって日本人幹部船員が見つからないため、2隻とも3か月近く係船しており、今後もいつ出港できるのか分からないという状況で、乗組員不足がますます深刻になって、年間の稼働率も大分落ちております。そんな中、燃油の高騰、資材の高騰もありまして、この後、隻数が増えることは期待できないと思いますが、先ほど乗組員の雇用関係について説明がありましたけれども、求人と求職のところでうまくマッチングというか、もっと積極的なマッチングという形が何かの形で取れないのかなと考えながら聞いていました。

私からは以上です。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。

それでは、各委員から発言がありました。それについて何かご質問とかご意見ございますか。ないようですので「議題（3）その他」に入ります。

資料8の令和4年度最低賃金専門部会委員及び開催日について、事務局からお願いたします。

〔今泉次長から資料8に基づき説明〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

ただいまの報告について、何かご意見、ご質問ございますか。

それでは、ないようですので、本日の議事は終了となります。

次回は12月23日金曜日の13時30分から、会場は4階会議室で開催します。

◎閉 会